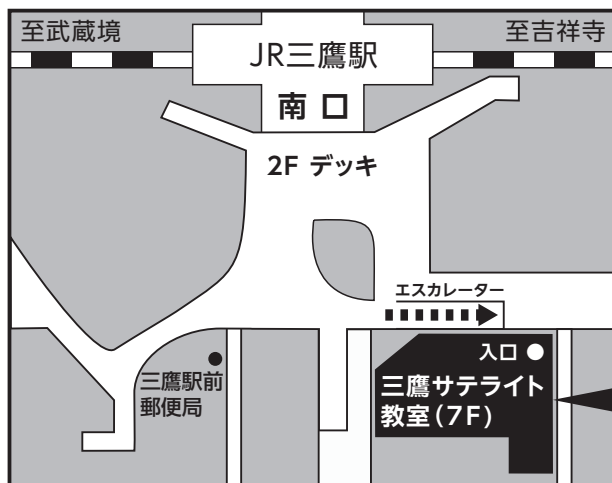


漢詩を読むー晋詩ー

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日程	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	元國學院大學講師 小笠原 博慧 (おがさわら ひろとし)				
	1941年生まれ。1965年、私立高校教諭(漢文)。1974年、公立高校教諭(国語)。1994年、武蔵野女子学院高校教頭。1999年、同中学・高校校長。その間1975年、國學院大學講師(漢文学)。1982年、市立大月短期大学講師(文学、日本語)。1988年、武蔵野女子大学講師(仏教学、日本仏教史)。同大学仏教文化研究所所員。1988年、福泉寺住職。				
内容	265年の魏の滅亡と西晋の成立から317年の東晋の時代までの155年間の詩を読む。 この時代の世情は大いに乱れていた。群雄の紛争と興亡、王室の革命と戦乱の継続、社会に秩序なく、人は義理をいわず、風俗は頹廢し暗黒の時代といわれている。 しかし、文学をはじめ宗教、工芸が著しく発展した時代でもあった。その後、隋の統一までの170年間も同様といえる。 また、漢代の儒教主義から厳刑主義(法治主義)に変わったのが、魏の曹操以後である。 この時期から世の乱れと相まって、老荘虚無・厭世的自然主義が主流になっていった。 詩人では、晋の張華・陸機・潘岳・左思などは、綺靡(華美)の風を開き、風骨気格は失われた。 それとは異なり、超然自得、自然を友とし、田園詩人と称された陶潜(淵明)は、官を棄て故郷に隠れ、平淡を以て悠々たる生き様を示した老荘主義の体得者といえる。詳しくは次期へ。				
	①7月10日：西晋の詩 張華 傅玄 ②7月24日：西晋の詩 陸機 潘岳 ③8月28日：西晋の詩 左思 郭璞 ④9月11日：西晋の詩 王羲之など ⑤9月25日：東晋の詩 陶潜(淵明) (一)				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。